

お菓子と人生

帯 祝	妊娠五ヶ月目の戌の日に岩田帯を締めて安産を祈ってお祝いをする。 由来・犬のようにお産が軽くすむ事にあやかっただ行事。	紅白餅
お 七 夜	無事出産して七日目に、仲人親戚近所の方々を迎えて命名の披露を行う。	紅白饅頭 七夜鯛 (砂糖)
お 宮 参 り	男子三十一日目、女子三十三日目に。母親が赤ちゃんを前抱きにして氏神に詣で無病息災を祈念する。	紅白饅頭 御赤飯
初 節 句	・ 女兒は三月三日(雛祭り)、親族縁者から雛人形が送られる。 ・ 返礼は草餅、桜餅(ひなあられ)引菓子などが使われる。 ・ 男児は五月五日(端午)にお祝いする。桃太郎、金太郎などの人形の他、鯉幟、兜などが送られる。	草餅・あられ餅 ひな餅・ちまき 柏餅
誕 生 祝	生後一年目を迎えて、一升餅をつけてお祝いをする。 餅を丸めて『寿』と書いて幼児に背負わせる。【力餅とも言う】	誕生餅 御赤飯
七 五 三	男児は3歳と5歳、女兒は3歳と7歳の年の11月15日氏神さんにお参りをして今日までの無事成長したことに感謝して、将来の幸せと健康を祈願します。	紅白饅頭 御赤飯
十 三 参 り	子供が13歳に成ったときにお参りするのが慣わしで、感謝と成長を土地の氏神さんに報告し今後の無事を祈願します。	紅白饅頭 御赤飯
卒 入 業 学 祝 祝	小学生から大学までの入学のお祝い。 卒業にあたり関係者に、祝饅頭などを配り感謝の意をあらわします。	紅白饅頭 御赤飯
成 人 祝	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日です。	紅白饅頭 御赤飯
賀 寿 の 祝	病の苦しみから元気になったことに感謝し、赤飯でお祝をします	御赤飯 カステラ 引き菓子
快 気 祝	「上棟式」は建前(タテマエ)とも呼び、無事棟が上がったことに喜び、感謝し、施主が職人さんをもてなす「お祝い」です。	御赤飯 紅白餅
上 棟 祝	人間今日あるは、自分に先祖のおかげと先祖を大切にするのは日本の伝統、亡くなった方々の命日(年忌日)には法要を営み、冥福を祈ることが大切です。	御赤飯 紅白餅
仏 事	個人へのお供え物ではなく御通夜や葬儀で大変なご遺族を気遣うもの。 「伽」とは御通夜の事(東海地方の習わし)	御赤飯 焼菓子
(御 淋 見 舞 伽 見 舞)	初七日、二十七日、三十五日、四十七日、四十九日(満中陰)、五十七日(三十五日)、六十七日、百か日、一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌、十七回忌、六十七日、百か日、一周忌、三回忌、七回忌、法事は務められます宗派によっては異なりますが、十五回忌、三十三回忌、五十回忌と続けられるところがあります	お餅 上用まんじゅう 焼菓子 カステラ
法 事		

お菓子、御赤飯、お餅、法要引出物(海苔、椎茸、お茶他)等承ります。  
御相談下さい。